

70th

愛知教育大学創立70周年
記念事業募金趣意書

- 子どもたちの未来を拓く人を育てる愛知教育大学 -



国立大学法人

愛知教育大学

AICHI UNIVERSITY OF EDUCATION

【基金事務局 広報・地域連携課】〒448-8542 愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢1
TEL : 0566-26-2139 FAX : 0566-95-0012
Email : kikin@m.auecc.aichi-edu.ac.jp

70th

愛知教育大学「創立70周年記念事業」への募金のお願い

愛知教育大学は、明治6年（1873年）創立の愛知県養成学校以来140年余りの歴史を有する全国屈指の教員養成系大学です。昭和24（1949）年5月の新学制制度の発足により、伝統ある愛知第一師範学校、愛知第二師範学校、愛知青年師範学校を統括して、愛知学芸大学を設置し、昭和41年（1966年）には愛知教育大学に改称して今に至っています。

「知を愛し、教え育む」という言葉からなる愛知教育大学は、刈谷市北部の丘陵地にあり、近くには三河と尾張の境界線である境川が流れています。大学から数百メートルのところに、日本三大カキツバタ自生地の一つである「小堤西池のカキツバタ群落」（国指定天然記念物）があり、5月には紫色の美しい花を咲かせることから、本学のシンボルマークは「カキツバタ」の花をモチーフにしており、3枚の花びらは、学生・教員・事務職員の融和を表しています。

学部には2つの課程があり、「教員養成課程」では実践力に富み、教育現場で活躍し続ける全校種の教員を育てています。平成29年（2017年）4月からは「現代学芸課程」を「教育支援専門職養成課程」に改組して、子どもの心理、福祉、教育行政に造詣のある専門職も育てています。

大学院には教育学研究科（修士課程と後期3年博士課程）と、教育実践研究科（教職大学院）があります。これらの研究科では、学部教育を基礎に、学校教育に求められる高度な能力を有する教員の養成、諸科学の専門分野および教育実践分野における理論と応用能力を備えた専門家の育成を行っています。

正規教員就職者数8年連続全国1位という実績のもと、今後も歴史ある教員養成を主軸として、「実践力」、「高度化」、「再教育」をキーワードに確かなスキルと現代的な教育上の諸課題への対応力を有する“教師”と“教育を支援する専門職”の育成を行い、子どもたちの未来を拓く多様な人材を育てていきたいと思えます。さらに、現職教員の学び直しの場合や社会人にとってのリカレント教育の場も提供してまいります。

昨今の経済戦略ではモノづくりが一段と強調されていますが、人づくり（人育て）こそが真に安定した社会の礎であると考えます。平成31年（2019年）6月1日に創立70周年を迎える本学では、別記のような記念事業を計画し、その実施を契機として、「子どもたちの未来を拓く人になる」教師や専門職の育成に一層努力していく所存です。

つきましては、創立70周年記念事業をご支援いただくための基金を設立致しました。本事業の趣旨をご理解下さいまして、何卒ご協力の程をお願い申し上げます。



国立大学法人
愛知教育大学 学長

後藤 ひとみ



70周年記念事業募金要項

募 金 名 称

「愛知教育大学創立70周年記念事業基金」

募 金 の 目 的

次世代教育イノベーションホール（仮称）改修・設備の充実及び
70周年記念事業実施のため

目 標 額

「2億円」

募 集 の 期 間

平成30年5月～平成31年10月

募 金 の 対 象

1. 役員及び教職員
2. 卒業生及び後援会員
3. 法人・企業・団体
4. その他有志の皆様

事 業 計 画

1. 教育環境の整備（記念ホール開設）
2. 創立70周年記念式典
3. 創立70周年記念講演
4. 創立70周年記念誌発行

ご寄附の手続きについて

郵便振替・銀行振込によるご寄附となっています。お手数では
ございますが、よろしくお願いいたします。

(1) ゆうちょ銀行をご利用の場合

郵便局の窓口にて、同封の「払込取扱票」によりお払込みください。

(2) 三菱UFJ銀行刈谷支店にお振込される場合

振込手数料が必要ですので振込手数料を差し引いた金額をお振
り込みください。この場合、振込手数料を含めた金額を寄附金
額とさせていただきます。

(3) ゆうちょ銀行以外の金融機関をご利用される場合に寄附者の 住所、氏名等の確認が困難な場合がありますので、愛知教育大 学未来基金ホームページ「ご寄附の方法」から「ご寄附の事前 連絡フォーム」に住所等をご記入のうえ送信してください。

(4) 本学財務課出納係へ、直接ご持参いただいても結構です。

お振込先のご案内

■ゆうちょ銀行 口座記号番号0830-9-61182

受取人口座名義：国立大学法人愛知教育大学

■三菱UFJ銀行刈谷支店 普通口座番号1313348

受取人口座名義：国立大学法人愛知教育大学学長後藤ひとみ

◎愛知教育大学の沿革等70年の歩み

■整備・統合期 [1966 (昭和41) 年
～1977 (昭和52) 年]

1966 (昭和41) 年

愛知教育大学に名称変更。

1970 (昭和45) 年

刈谷市井ヶ谷地区に統合移転した。



刈谷キャンパス
全景



第一共通棟
南西側



第一共通棟
南側



第一人文棟



本部棟



ご寄附をお願いしたい金額

- ◆個人さま：一口 5,000円
- ◆法人さま：一口20,000円

愛知教育大学創立70周年記念事業の趣旨をご理解いただき、複数口のご協力をいただければ幸いです。

☆寄附金に対する税制上の優遇措置

愛知教育大学への寄附に対しましては、所得税法、法人税法による税制上の優遇措置を受けることができます。本学から受領しました「寄附金額収書」を控除証明書としてご利用いただき、確定申告によりお手続きをお取りください。

(1) 寄附者が個人の場合

- ◆所得税の所得税控除について
2,000円を超えた寄附金額（総所得金額の40%）について、ご寄附された当該年の所得から所得控除ができます。
- ◆個人住民税の税額控除について
上記減免措置に合わせてさらに、2,000円を超えた総所得の30%までの寄附金額に対して、ご寄附された当該年の翌年の個人住民税額から控除されます。

(2) 寄附者が法人・団体さまの場合

法人税法第37条3項第2号により、寄附金の全額を事業年度の損金に算入することができます。

☆寄附者への顕彰

寄附者銘板へのご芳名の掲載

- (1) 平成31年10月31日までに、個人さま5万円以上、法人さま20万円以上ご寄附いただいた方は「次世代教育イノベーションホール（仮称）」の愛知教育大学創立70周年記念事業寄附者銘板に末永く顕彰させていただきます。
- (2) 複数回に分けてご寄附いただいた場合は、その総額で顕彰させていただきます。
- (3) ご寄附いただいた方全員のご芳名を愛知教育大学ホームページに公開させていただきます。（※ホームページでの公開を希望されない場合は、掲載いたしません。）

【お問い合わせ先】

愛知教育大学未来基金事務局(広報・地域連携課)
担当: 広報・渉外係 林
〒448-8542 愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢1
Tel: 0566-26-2139 FAX: 0566-95-0012
Email: kikin@m.auecc.aichi-edu.ac.jp

■拡充期 [1978 (昭和53) 年 ~2003 (平成15) 年]

- 1978 (昭和53) 年: 全国で3番目の教員養成大学大学院を設置
- 1986 (昭和61) 年: 講堂を竣工
- 1987 (昭和62) 年: 教員養成以外の人材養成を目指し、総合科学課程を設置
- 2000 (平成12) 年: 総合科学課程を再編し、学芸4課程(国際理解教育課程、生涯教育課程、情報教育課程、環境教育課程)を設置



■国立大学法人 [2004 (平成16) 年~]

- 2004 (平成16) 年: 国立大学の法人化に伴い、国立大学法人愛知教育大学へ移行
- 2007 (平成19) 年: 初等教育教員養成課程に情報選修および英語選修を、中等教育教員養成課程に情報専攻を新設。学芸4課程を改組し、現代学芸課程を設置
- 2008 (平成20) 年: 専門職大学院として教職大学院(全国初の15大学の一つ)を設置
- 2012 (平成24) 年: 静岡大学と共同で大学院教育学研究科に、後期3年博士課程(共同教科開発専攻)を設置
- 2012 (平成24) 年~2016 (平成28) 年: 学生寮を改築・改修
- 2014 (平成26) 年: 教育未来館を竣工



- 2015 (平成27) 年: 美術第一実習棟、美術第二実習棟リニューアル改修



- 2016 (平成28) 年: 教育総合棟、情報処理センター棟を教育交流館/AUEスクエアに改修



- 2017 (平成29) 年: 現代学芸課程を改組し教育支援専門職養成課程を設置
附属図書館の機能改善を図り、書架を3階に集約させ、2階を大規模なアクティブニングスペースに改修

